

2020 年度 (対象年度 : 2018~2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	国際関係学部
--------	--------

基準 1	理念・目的
------	-------

総評	
0101	大学の基本理念・使命・目的をふまえ、学部教育の目的を示す基本理念を「行動できる、心豊かな人間の育成」として適切に設定されている。教育研究上の目的は、学部 (学科) の教育組織の特色を明確にしたものになっており、育成する人間像も明確である [0101a] [0101b]。
0101	学部の理念を実現するための基本方針が【知る : knowledge】【話す : communication】【体験する : experience】というキーワードとともに示されており、わかりやすいものとなっている [0101a]。
0102	学部の教育上の目的や大学の基本理念との関連性などが「学生便覧」「国際関係学部教育理念・使命ポスター」「国際関係学部教育理念・使命クリアファイル」などにより学生や教職員に周知されている [0101a] [0101b] [0101c]。また、社会に対しても、「中部大学情報公表」HP や「中部大学国際関係学部国際学科パンフレット」により学外に公表している [0101d] [0101e]。
0102	学部パンフレットに示されている教育理念の部分に教育方針と教育理念の記述が混在しているため、ややわかりにくく [0101e]、改善の余地がある。
長所・特色	
0101	学部 (学科) の教育研究上の目的及び育成する人間像が、学部の教育方針、教育組織の特色を活かした明確なものになっている [0101a] [0101b]。
0101	学部の教育方針が【知る : knowledge】【話す : communication】【体験する : experience】というキーワードを用いて記述されており、学生にとってわかりやすいものとなっている [0101a]。
0102	学部の教育研究上の目的が適切な形で、様々な媒体を通じて学内外に公表されている [0101a] [0101b] [0101c] [0101d] [0101e]。
留意点	
	*各項目に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
0102	学部パンフレットに示されている教育理念の部分に教育方針と教育理念の記述が混在している点について、改善が求められる [0101e]。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料    △ : 現部署で保管

2020 年度（対象年度：2018～2019 年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	国際関係学部
--------	--------

基準 2	内部質保証
------	-------

総評	
0203	自己点検・評価委員会が主任会議のメンバーによって構成されている[0203e]。
0203	本受審以外に外部評価をうけていない。
0203	「国際関係学部教育活動評価点検委員会」が設置され、教員の教育活動に関する点検・評価体制が整備されている[0203a・0203b]。
0203	教育活動顕彰制度の学部ポイント算出のための投票が教授会でなされ、教員の相互評価の機能をもたせている[0203a・0203b]。
0203	前回の指摘を受け、卒業研究審査の客観性・厳格性を確保するガイドライン策定のための検討が組織として行われ、「卒業研究に関する規定」が設けられた。改善に向けた努力が認められる[0203f・0203g]。
0203	卒業研究審査の客観性・厳格性を保障するため「卒論閲覧会」実施した。その実態に関する記録が確認できなかった[学部 HP]。
長所・特色	
0203	教員の教育活動評価のための委員会が設置されていることは、評価できる[0203a・0203b]。
0203	教育活動顕彰制度の学部ポイント算出の適否が教授会の投票で確認され、教員の教育活動への関心を高め教員の相互評価となっていることは本学部の特色であり、評価できる[0203a・0203b]。
0203	前回のピアレビューの指摘を受け、卒業研究（卒業論文）審査の客観性・厳格性を確保するための検討がなされ、「卒業研究に関する規定」が設けられたことは改善に向けた努力として評価できる[0203f・0203g]。
0203	卒業研究審査の客観性・厳格性を保障するため「卒論閲覧会」を実施したことは評価できる[学部 HP]。
留意点	
* 各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0203	本受審以外に外部審査を受けていない。PDCA サイクルを回すためにも外部評価受審が望ましい。【B】
0203	「卒論閲覧会」を記録で残し、その機能の有効性を点検する仕組みが必要である。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料    △：現部署で保管



ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2018~2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	国際関係学部
--------	--------

基準 4	教育課程・学習成果 (2)
------	---------------

総評	
0404	1 年次生には、履修ガイダンスで履修登録の方法や要点をまとめた資料を配付し、指導している [0404b]。
0404	「ハイブリッド・プロジェクト A・B・C」では、初回授業時に参加者の学問的関心を確認した上で、テーマ設定の段階から複数教員と受講生全員で議論を行い、自主性を尊重しながら必要に応じて支援する授業を実施している [0404a]。
0405	学部執行部全員でシラバスを点検し、「達成目標」と「成績評価方法」に基づく成績評価の統一を行っている [0405a]。
0405	卒業要件は「学生便覧」に明示し、入学段階から在学生在に明示している [0405c]。学位論文審査基準については、学部で「卒業研究に関する規定」を取り決め、2019 年度より適用している [0405d]。
0405	卒論中間発表会の運営方法についての規定が確認できない [0405d]。
長所・特色	
0404	「ハイブリッド・プロジェクト A・B・C」では、テーマ設定の段階から複数の教員と受講生全員でディスカッションを行うなど、学生の自主性を尊重した授業を実施している点は評価できる [0404a]。
0405	学部執行部全員でシラバスを点検し、「達成目標」と「成績評価方法」に基づく成績評価の統一を行っている点は評価できる [0405a]。
留意点	
* 各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0405	卒業論文の審査基準は策定したものの、中間発表会の運営方法についてはその運営規定が確認できない。その策定が望まれる [0405d]。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0404	c	学生便覧 2018 年度 (p.126)	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料    △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2018~2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	国際関係学部
--------	--------

基準 4	教育課程・学習成果 (3)
------	---------------

総評	
0406	1 年次秋学期終了時に、「国際基礎演習」でプレゼン・コンペを実施し、初年次における総合的な学習成果の検証を図っている [0406a]。2 年生の秋学期終了時に、「国際応用演習 B」において、「中間論文」を課しての調査・文章能力の検証、発表会によるプレゼンテーション能力の検証を行っている [0406b]。4 年生の春学期終了時に学生主催の「卒業論文中間報告会」を実施し、そこに 3 年生も参加させることで、自身の卒業研究の目標とさせている [0406c] [0406d]。 0407 学位授与の方針に直接かかわる卒業論文の評価について、学部執行部を中心とした教員による「卒論閲覧会」を実施し、すべての卒論を閲覧して、本学部の卒論のあり方や評価の基準などについて議論を行っている [0407a]。
長所・特色	
0406	1 年次より每学期必修のゼミ科目があることを利用し、学習成果を検証するという手法を採っている点は本学部の特徴として評価できる [0406a] [0406b] [0406c] [0406d]。 0406 Web ポートフォリオを利用し、学生の自己評価に基づきながら、学習の到達度の把握に努めている点は高く評価できる [0406e]。
留意点	
* 各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項	
0406	3 年生についても学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認することが望まれる [0406a] [0406b] [0406c] [0406d]。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0406	e	Web ポートフォリオ	△

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2018~2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	国際関係学部
--------	--------

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

総評	
<p>0502 DP および CP をふまえて入学者受入れの方針 (AP) を適切に定め、HP 等で公表している [0501a]。</p> <p>0504 試験種別、出身高校別の入学者数について、入学後の追跡調査も含めて分析と検証が行われており、継続的に検討されていることが確認できる [0504b] [0702a] [ヒアリングに提示資料]。</p> <p>0502 AO ポートフォリオ入試については入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、定期的な検証が行われている。</p> <p>0504 入学者の学力の二極化をいかに解消するか、検討していることが確認できる [0504b] [ヒアリング提示資料]。</p>	
長所・特色	
<p>0502 AP を適切に定め、HP 等で公表している [0501a] 。</p> <p>0504 試験種別、出身高校別の入学者数について分析と検証が行われていることは評価できる [0504b] 。</p> <p>0502 AO ポートフォリオ入試については、求める人材像の適切な設定、選抜方法の定期的な検討、学部独自の AO ポートフォリオガイダンス資料の作成・配布などがおこなわれているなど、学部の関与が重要となる入試種別への積極的な取組みがなされており、評価できる [0502a]。</p>	
留意点	
* 各項に留意点レベルを記入	<p>【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p>【B】・・・検討を要する事項</p>
とくになし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料    △ : 現部署で保管



## ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

## 2020 年度 (対象年度 : 2018~2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	国際関係学部
--------	--------

基準 7	学生支援
------	------

総評	
0702	学生指導に関して、学生指導の上で学科として共有すべき、さまざまな情報が学生一人ひとりについて収集されており、問題を抱える学生に対する指導に活用されているほか、演習科目のクラス分けなどにも利用されている [0702a]。
0702	学生の修学上の支援に関して、学部独自の Web ポートフォリオを構築し、学生は活動を記録して自己評価を行う一方、教員はそれに対するフィードバックを行う体制となっている。
0702	学生の生活上の支援に関し、ゼミ内でのトラブルがあった場合の対応がゼミの講義要綱に明確に規定されている [0702b]。
0702	学生の進路に関する支援について、進路選択に関わるガイダンスやイベントが実施されている [0702c] [0702d]。
長所・特色	
0702	就学状況情報を学生一人ひとりについて収集、整理し、学生指導に活用している点は高く評価できる [0702a]。
0702	学部独自の Web ポートフォリオにより学生は 4 年間の活動を記録・自己評価するとともに、教員がそれに対してフィードバックする体制ができており、学生の成長を促す仕組みとして評価できる [0702i]。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0702	学生支援のための諸活動 (課外見学など) が特定のゼミのゼミ活動が中心となっているため、学部学科としての取組みとしての実施の検討もなされるとよい [0702c]。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0702	i	Web ポートフォリオ「教員からのコメント」	△

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管





ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2018~2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	国際関係学部
--------	--------

基準 9	社会連携・社会貢献
------	-----------

総評
<p>0902 教員免許状更新講習、CAAC、各種地域連携講座など、本学が大学として取り組んでいる社会連携・社会貢献の活動に協力していることが確認できる[0902a][0902b][0902d][0902e][0902f][0902g][0902h]。</p> <p>0902 大学が担う役割としての、社会連携・社会貢献、国際交流事業に関して、学部としての組織的・計画的で戦略的な活動が確認できない。</p> <p>0902 社会連携・社会貢献の活動は、個人レベルでさまざまになされていることがヒアリングの結果確認できたが、それを組織として把握できていない。</p>
長所・特色
<p>0902 各教員個人レベルにおいて、社会連携・社会貢献活動が積極的に取り組まれていることが確認できる[ヒアリング当日資料]。</p>
留意点
<p>*各項目に留意点レベルを記入</p> <p style="padding-left: 40px;">【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p style="padding-left: 40px;">【B】・・・検討を要する事項</p>
<p>0902 教員免許状更新講習、CAAC、各種地域連携講座など、ここで上がっている社会連携・社会貢献はいずれも本学が取り組んでいる活動への協力であり、学部としての組織的活動ではない。社会連携・社会貢献は、学部としても組織的な役割が期待されている事項である。アドミッションや戦略的な観点からも、学部や学科の組織として活動を検討する場と、計画的・系統的な実践が必要である[0902a][0902b][0902d][0902e][0902f][0902g][0902h]。</p> <p>【B】</p> <p>0902 個人レベルでさまざまになされている社会連携・社会貢献の活動を学部として把握するとともに、組織的な活動の一部に位置付けることが必要である。【B】</p>

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料    △ : 現部署で保管

